

1 現代文

問一 ア 滑 イ 不穩 ウ 家畜 エ 履歴 オ 迅速

問二 私と人間ならざるものを含む他者たちの断片(二〇字)

問三 人間のありようを方向づけ、他者や自然との関係を秩序づける規範を含まない点で、人類学的なサブスタンスコードとは異なるが、コード化された遺伝情報を内包し、他種の生物間で移動する物質である点で、「サブスタンスコード」といえる。

問四 幻想

問五 他者のサブスタンスコードを摂りこむことで生成するとともに変容し、自己の一部を放出することにつながりの中に拡散していくような、人間の本来のあり方を示す概念。

問六 危険な力と豊饒な力を併せ持つ他者との関係において、他者との接触や物のやりとりがもたらしうる危険を避けつつ、他者の豊饒な力を受け取るという役割。

問七 仲の良い友人の口癖が知らない間に移っていたり、憧れている先輩の考え方の影響を無意識のうちに受けていたりすることがあるように、自他の境界とは決して強固なものではなく、私たちは常に他者の影響にさらされた存在である。自己とは、近代的個人という言葉が想定しているような自立した単一の存在として捉えられるものではなく、他者との相互関係において形成され、絶えず変容し続けている存在だと言えるのではないか。(一九六字)

問一 時間を経済成長に貢献する有用で効率的な活動のために費やすのではなく、一人の友人とゆっくりと話をするなど時間そのものを楽しみ幸せを感じるのだと理解している。（七八字）

問二 近代以降、未来を確かなものとして信じられず不安になったわれわれは、未来は今日より「進歩」すべきだという強迫観念に囚われ、富の増大や統計的数値によって示される経済成長こそが幸福の尺度であるかのように思いこんだ。今日、われわれは物的な豊かさや自由を享受しながらも、有用性と効率性に基づいてより大きな成長を達成することをよしとする成長主義に捕捉されている。このような成長主義は、合理的な選択や理性的な判断の結果としてもたらされたものではなく、社会に共有されたただの情緒にすぎない。そもそも富を生み出すには相応の犠牲を払わなくてはならないからである。たとえば、あくせく働いて収入レベルをあげ高級車を購入するためには、一人の友人とゆっくりと過ごす時間を感じる幸福を手放すことになる。また、自動車の発明・改善によってGDPは増加しても、自動車事故による人口の減少や環境の悪化や生活のあわたしきからくるストレスが生じることになる。これらの目にはみえず計測もされない犠牲の上に今日の成長主義は成り立っているのである。したがって、このような「成長主義」はわれわれに幸福を約束するものではない。（四八八字）